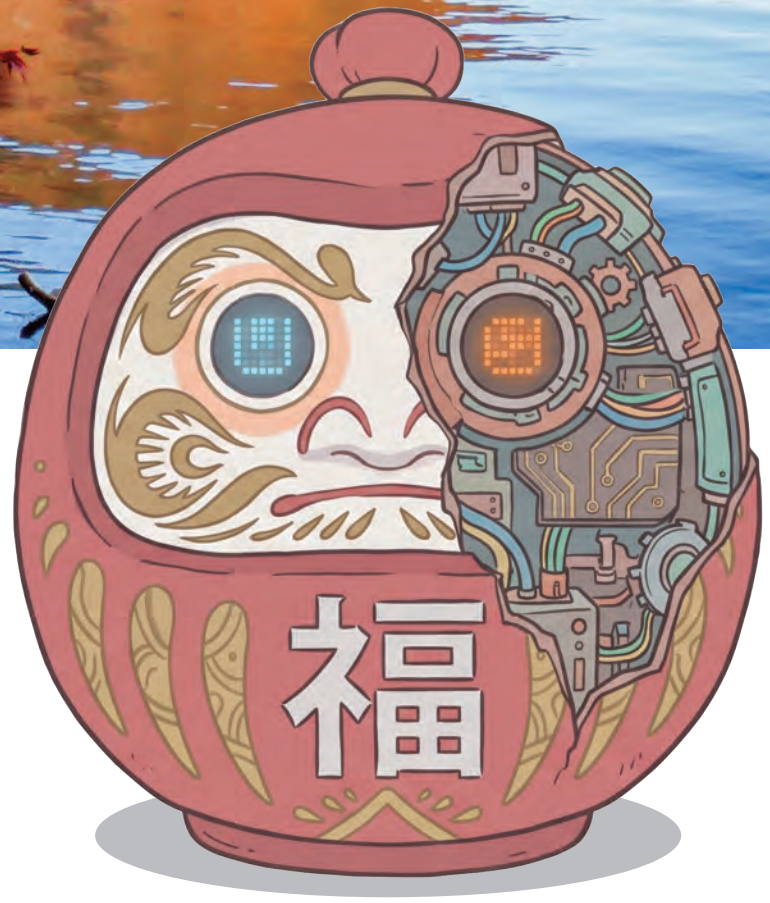
JSRT

Autumn Bulletin

2026



Scrap and Build
Shaping the Future of Radiological Science and Technology



大会 HP はこちらよりアクセス！

https://www.jsrt.or.jp/gmeeting/shuki54/

JAPANESE SOCIETY OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGY

OFFICIAL NEWSPAPER : The 54th Autumn Scientific Congress of Japanese Society of Radiological Technology in Gunma

JSRT Autumn Bulletin 2026

第54回 日本放射線技術学会秋季学術大会新聞
日時 2026 10/23(金)～25(日)
会場 Gメッセ群馬
HP https://www.jsrt.or.jp/gmeeting/shuki54/

THE OFFICIAL NEWSPAPER
The 54th Autumn Scientific Congress of
Japanese Society of
Radiological Technology in Gunma

Scrap and Build
Shaping the Future of
Radiological Science
and Technology

ようこそ！　北関東の熱い討論の場へ
第54回秋季学術大会　Gメッセ群馬



大会長　つくば国際大学　**武井 宏行**

この度、第54回日本放射線技術学会秋季学術大会をこの地で盛大に開催できますことを、心から嬉しく思います。参加いただいた皆様を、大会実行委員および関東支部理事一同、あたたかくお迎えいたします。

本大会のテーマである、「Scrap and Build」は、過去の慣習にとらわれず、不要なものを見極め、新たな時代に必要とされるものを大胆に取り入れる精神を表現しています。現在日本放射線技術学会は新しい時代に向け、専門部会の再編と教育体制の再構築を柱とする様々な改革を進めております。教育委員会では、専門領域を超えて「教育」という視点から横断的に活動できる「専門コミュニティ」の体制を整えてまいりました。また、将来構想委員会からの答申に関するシンポジウムも企画いたしました。本企画は、今後のJSRTが目指すべき方向性について会員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、共に変革へのご理解を深めていただく絶好の機会と考えております。

参加者の皆様には秋季学術大会での学術的な面はもとより、群馬の地での体験をしっかり味わっていただきたいと思いますので、飲食や体験などへのご要望・ご質問があればぜひ実行委員にお声がけいただければ幸いです。どうぞお楽しみください。

Scrap and Build
――未来をつくるために、群馬・高崎へ！



実行委員長　千葉大学医学部附属病院　**飯森 隆志**

第54回日本放射線技術学会秋季学術大会を、10月23日（金）から25日（日）まで、 群馬県高崎市のGメッセ群馬で開催します。テーマは「Scrap and Build：Shaping the Future of Radiological Science and Technology」です。これまでの知識や経験を見つめ直し、これからの放射線医療に必要なものを見極め、新たな価値を創り出す――そんな思いを込めています。

実行委員会企画では、「論文執筆」「画像処理」「しくじりから学ぶ安全・臨床」「生成AI」を取り上げ、明日からの臨床や研究につながる企画を用意しました。さらに、JIRAとの連携による「ニーズマッチング会」「JIRA発表会」「JIRAワークショップ」では、医療現場と企業との新たな出会いから、未来の放射線医療につながる可能性を探ります。

今回はオンデマンド配信を行わず、すべて現地開催です。顔を合わせて学び、語り合うことで、新たな交流や研究につながるきっかけが生まれる――これこそ現地開催の醍醐味です。

高崎は東京からのアクセスも良く、群馬には温泉、食、歴史など魅力が満載です。学会と群馬を楽しむ３日間にしませんか。

ぜひ、秋の群馬・高崎へお越しください。皆さんと会場でお会いできることを、実行委員一同、心より楽しみにしています。

Contents

大会長・実行委員長ご挨拶 …… 02
実行委員スタッフ紹介 …… 03
実行委員会企画 …… 05～08
部会紹介 …… 09～15
関係法令フォーラム …… 16
委員会紹介 …… 17～20
情報交換会 …… 21
次回（第55回）秋季学術大会より …… 21
注目企画 …… 22～23
JIRA連携企画 …… 24
医用モニタ品質管理ハンズオンセミナー …… 25
ランチョンセミナー紹介 …… 26
お弁当・スイーツのご案内／
スタンプラリー企画 …… 27
プログラム …… 28～30
会場のご案内 …… 32
広告 …… 4～19





実行委員スタッフ紹介 Staff Introduction

石塚 瞬一《広報》 船橋市立医療センター



普段はCT室で画像とにらめっこしていますが、今回は実行委員として大会を盛り上げる側に参戦！ CTは真面目に、大会は楽しく！をモットーに、実行委員としてあれこれ奮闘中です。今回は新聞づくりにも手を出し、気づけば本業が何だったか分からなくなってきました（笑）。群馬のおいしいものも、学会の熱気も、全部まとめて楽しんでいただけたらうれしいです。会場でこの顔を見かけたら、「新聞見たよ！」の一言をぜひ。たぶん、とても喜びます。

坂井 上之《学術》 つくば国際大学



本大会にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

プログラム・企画担当として、皆様の学びと交流が深まるよう準備を重ねてまいりました。特に注力した「４つの実行委員会企画」は、最新の知見と議論が交錯する必見のプログラムです。ぜひご期待のうえ、会場へ足をお運びください。

また、開催地である群馬県は豊かな温泉や自然、美味しい郷土料理などの魅力に溢れています。学会での熱い議論の合間には、群馬の観光やグルメも心ゆくまでご満喫いただければ幸いです。

皆様にとって実り多き時間となりますことを、実行委員会一同、祈念しております。

須藤 高行《会場》 群馬大学医学部附属病院



このたびＧメッセ群馬にお越しくださる皆さまを、会場担当として心よりお迎えいたします。群馬は豊かな自然と水に育まれた食の魅力にあふれ、ここ高崎では名物の高崎パスタをはじめ、地元野菜を使った料理や焼きまんじゅうなど、気軽に楽しめる味がそろっています。学びや交流の合間に、ぜひこの土地ならではの“おいしさ”が皆さまの気持ちをそっとほぐすひとときとなれば幸いです。三日間が心地よい時間となるよう、会場運営にも丁寧に努めてまいります。

富田 哲也《財務》 筑波大学附属病院



みなさん、群馬県高崎市へようこそ！

私は今回、実行委員として「財務」を担当しています。協賛金の管理から会場費、備品代まで、「この予算で本当に大丈夫か？」と、日々電卓をたたいております（泣）。

できる限りの準備をしてきましたが、最終的に赤字になるかどうかは……参加者の皆さんの人数次第です！今からでも遅くありません。ぜひお知り合いにもお声掛けいただき、一人でも多くの方にご参加いただけますと、財務担当として大変助かります！！

群馬といえば、温泉、だるま、水沢うどん、焼きまんじゅう、そして「ぐんまちゃん」。学会の合間には、ぜひ群馬の魅力も存分に楽しんでください。

皆さんに「群馬大会に参加してよかった！」と思っていただける学会を目指して、実行委員一同、準備してまいりました。学会も群馬も、丸ごと楽しんでいってください！

宮田 真理子《総務》 筑波大学附属病院



群馬・高崎の地で、皆様をお迎えできることを、心よりうれしく思います。

総務担当として、実行委員会の皆様とともに、一つひとつ準備を重ね、こうして今日の日を迎えることができました。

学びを深めることはもちろん、さまざまな地域や立場の方々との出会いや交流も、学会ならではの大きな魅力です。ここで得た学びや出会いが、ご参加の皆様のこれからにつながることを願っております。

「高崎に来てよかった」――そう感じていただけるよう、多くの笑顔と新たなつながりが生まれる、温かく実りある学会となるよう、実行委員一同、最後まで心を込めて努めてまいります。

井出 仁勇《財務》 つくば国際大学



本大会へお越しいただき、ありがとうございます！

私自身、高崎はこれまで訪れる機会がそれほど多くなかった街です。今回、実行委員として皆様をお迎えしながら、私自身も高崎の魅力を新たに発見できることを楽しみにしています。せっかく足を運んでいただく３日間、多くの発表や議論、新しい出会いが待つ学会を存分に楽しみ、しっかり学んだあとは、高崎の街や食もぜひ楽しんでいただければと思います。

ここで得た学びや出会い、そして高崎で過ごした時間そのものが、皆様のよい思い出となれば幸いです。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

佐藤 広崇《広報》 千葉大学医学部附属病院



広報担当の佐藤です。本大会の魅力を余すところなくお届けできるよう、大会HPやポスターをはじめとする各種広報物の制作・情報発信に注力してまいりました。 学会当日は、最新の知見や熱気あふれる活発な議論はもちろん、参加者の皆様同士で新たなつながりや交流が生まれる、実り多き時間となれば幸いです。ご参加いただく皆様に「来て本当によかった！」と心から感じていただけるよう、会期終了まで全力でサポートいたします。

会場で皆様とお会いできることを、心より楽しみにしております！

関 優子《会場》 群馬大学医学部附属病院



実行委員の関です。地元での全国大会開催となり、会場を担当しております。今大会は対面のみ開催となっておりますので、日頃の成果をご発表いただき、会場でのディスカッションが盛り上がることを期待しております。皆様にとって充実した３日間となれば幸いです。

前回大会にならい、私からはおすすめグルメを紹介したいと思います。開催地である高崎市は「パスタの街」としても紹介されており、毎年キングオブパスタも開催されます。Gメッセ群馬周辺では「はらっぱ」、ミートソースの上にトンカツがのったパスタの「シャンゴ」など多くのお店がありますので、お楽しみいただければと思います。

仲田 智彦《総務》 茨城県総合健診協会



総務担当の仲田です。今大会のテーマは「Scrap and Build」。準備を進めるなかで、ふとヱヴァンゲリヲン新劇場版を思い出しました。英題は「Rebuild of Evangelion」。テレビアニメを劇場版にするときは、フィルムを引き伸ばして流用するのが通例でした。新劇場版はその道をとっていません。画質が荒れて作品の志が損なわれる、という理由からです。守りたいものがあるからこそ、手放す。テーマの「Scrap」も、そういう意味なのだろうと思います。皆様が積み上げてこられたものの中にも、手放してよいものと、守るべきものがあるはずです。この三日間が、その見極めの時間となりますように。

森 祐太郎《学術》 筑波大学附属病院



こんにちは。学術担当を務めております森です。学会の醍醐味は、最新の研究成果に触れることはもちろん、発表をきっかけに「それ面白いですね」「一緒にやりませんか？」と次の研究や新しいつながりが生まれることだと思っています。今回は、皆様の発表や議論がそんな“何かが始まる”きっかけになるよう、学術プログラムの準備を進めてきました。私自身も学会では、発表そのもの以上に、その後の雑談から面白い研究のアイデアが生まれる瞬間が大好きです。せっかくの群馬・高崎開催、熱い議論のあとは美味しいものも楽しみながら、ぜひ多くの方と交流してください。会場でたくさんの新しい「問い」と出会えることを楽しみにしています。



【お問い合わせ先】Jpiジャパン株式会社
〒124-0004 東京都葛飾区東堀切3-11-2 Jpi Gビル TEL：03-6686-7909 FAX：03-6679-3281 http://www.jpij-med.co.jp

Autumn Bulletin
実行委員会企画1
JSRT in Gunma

診療放射線技師の論文執筆入門
－働きながら論文を書くには－



日時 2026.10.23 金
13:30－15:30

会場 第３会場　メインホールA

座長
市川 肇
（新潟医療福祉大学）
藤生 敦哉
（桐生厚生総合病院）

演者



論文執筆についての
ちょっといいはなし
高津 安男（藤田医科大学）



診療放射線技師の
研究力を高める
－日常臨床から論文執筆につなげる実践－
舛田 隆則（川崎医療福祉大学）



子育て世代の技師が
論文を書くには
－家庭・仕事・研究との向き合い方－
伊藤 肇（東千葉メディカルセンター）



論文は仕事を変える！
―100回の発表より1編の論文を―
高橋 順士（虎の門病院）

19か国語対応
13か国語標準対応
＋
オプション6か国語

胃部X線検査向け 映像・音声案内ガイド
GI VOICE
ジーアイボイス

多様な受診者に、伝わる安心を。



＼動画で見るGI VOICE／

機能・操作の流れをご確認いただけます

〈製造元〉 株式会社 大林製作所
東京都文京区湯島1丁目7-10

〈販売元〉 株式会社 アスアル
京都府京都市南区上鳥羽北島田町118

〈販売代理店〉 KAIGEN カイゲンファーマ株式会社 営業企画部
https://kaigen-pharma.co.jp 大阪市中央区道修町二丁目5番14号 TEL：06-6202-8977

GIVO-A02-01

Autumn Bulletin
実行委員会企画2
JSRT in Gunma

画像処理パラメータの基礎

日時 2026 10.24 土 10:00－12:00

会場 第３会場　メインホールA

座長 丸山 礼佳（川崎市立井田病院）
今花 仁人（日本医療科学大学）

演者



「画像処理の基礎」
獨協医科大学埼玉医療センター
小松崎 祐貴



「臨床目的に応じたDR画像処理パラメータの調整」
筑波大学附属病院
渡部 将典



「画像処理の評価」
聖マリアンナ医科大学病院
田沼 隆夫



「MMG画像の画像処理」
聖マリアンナ医科大学附属研究所
B&I先端医療センター附属クリニック
古谷 悠子



BRAINLAB

ExacTrac Dynamic®

A new dimension of patient positioning & monitoring

Learn how the next generation of ExacTrac is streamlining radiotherapy treatments for a broad range of clinical workflows.



製造販売元
ブレインラボ株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-2-16
TEL. 03-3769-6900　FAX. 03-3769-6901
jp_sales@brainlab.com
brainlab.com/ja/

製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
販売名：エグザクトラック　医療機器承認番号：22200BZX00108000

© 2021 Brainlab AG / RT_AD_JP_ExacTrac Dynamic_Mar22_Rev1 /
ExacTrac Dynamic is a registered trademark of Brainlab AG or an affiliated company, see www.brainlab.com/trademarks for details.

Autumn Bulletin
実行委員会企画3
JSRT in Gunma

教えて！しくじり先生



日時 2026.10.24（土）
15：10－17：50

会場 第7会場　中会議室301

座長
加藤 英樹
（群馬パース大学）
江村 隆
（国際医療福祉大学成田病院）

演者



その一枚、実はアウトです
－見逃しにつながる一般撮影
NG集とその回避－

獨協医科大学病院
木村 友昭



金属持ち込みを
ゼロに近づけるために
－MRI室のしくじりから生まれた安全対策－

山梨大学医学部附属病院
濵﨑 真滉



PRRT導入・運用で学んだこと
－薬剤供給と
多職種ミーティングの重要性－

筑波大学附属病院
岩坂 明美



アーチファクトから学ぶ
「テキトー」と「適当」

国立がん研究センター中央病院
宮前 裕太



しくじり続けて生まれた
“読む”チカラ

千葉大学医学部附属病院
笠原 哲治



放射線治療の不適切にも
ほどがある！
～その照射ボタン押していいですか？～

QST病院
鶴岡 伊知郎



我々が
サポートします。

ASTEC 株式会社アステック

つくば本社
〒305-0033
茨城県つくば市東新井14-3
TEL：029-855-2866
FAX：029-855-7077

水戸営業所
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1041-4 サン・ビルヂング6F
TEL：029-304-2771
FAX：029-248-6047

千葉営業所
〒277-0802 千葉県柏市船戸1-18-20
TEL：04-7170-0201
FAX：04-7131-3017

宇都宮営業所
〒321-0911 栃木県宇都宮市問屋町3413-46 KHVビル3F
TEL：028-612-8015
FAX：028-612-8663

東京営業所
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565 岡芳本店ビル1F
TEL：03-6205-6307
FAX：03-6205-6308

埼玉営業所
〒333-0807 埼玉県川口市長蔵1-24-15 サントエストリア101
TEL：048-280-6877
FAX：048-280-6899

Autumn Bulletin
実行委員会企画4
JSRT in Gunma

研究する 医療者 × 生成AI

日 時 2026.10.25 (日)
9：00－11：00

会 場 第1会場　メインホールC

座　長

只野 喜一（杏林大学）

川田 悟（つくば国際大学）

演　者



生成AIと"つきあい始める"前に知っておくべきモラル・リテラシー・セキュリティ入門

増渕 裕介（KOHART株式会社）



生成AIを最高の伴走者に！
～研究者のための実践ワークフロー～

福井 亮平（岡山大学）



生成AIに“伝わる”プロンプト入門
～論文検索・管理とNotebookLMで踏み出す研究の第一歩～

平原 大助（帝京平成大学）





検査室内を心安らぐ快適な空間にしませんか？

オデコデザインでは、アートの力でより良い医療環境を作るための取り組み、「ホスピタルアート」の一環として、患者様・病院スタッフの皆様の心に寄り添う室内装飾、CT・MRI ラッピングを行っております。
オデコデザインのホスピタルアートが室内に癒しの効果をもたらします。
それぞれのご施設の環境に合わせ、様々な年齢層の患者様を対象としたデザインの室内装飾をご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは……

ODECO DESIGN

TEL　042-426-9047
E-mail　tokuso@nikkyu.co.jp
FAX　042-426-9048

〒182-0022
東京都調布市国領町4-9-4
九曜国領駅前 ビル3F

お問い合わせ
フォーム


MRIラッピング＋天井SKYLIGHT


MRIラッピング＋床誘導サイン

部会紹介 01

画像部会

Medical Imaging Division

近年、AI技術、特に大規模言語モデルをはじめとする生成AIの進化は目覚ましく、放射線技術分野においてもその深い理解と実践的な活用が不可欠な時代を迎えました。

本大会の第99回画像部会は、第92回核医学部会との合同企画として、「AIと画像の成り立ちから生成AIの実践まで」を１日かけて網羅するシンポジウムを開催します。前半は「画像の成り立ちとAI」をテーマに、画像生成の物理的基礎を再確認し、AIがいかに介入して画質改善や解析の自動化をもたらしているかを議論します。後半は「生成AIが拓く放射線技術の新展開」と題し、LLMの最新動向をアカデミックに整理します。その上で臨床現場、研究活動、日々の業務において生成AIをいかに使いこなすか、多数のエキスパートが実践例を紹介します。



基礎から学び直したい方、プログラミング未経験からAIを実践したい方、業務を革新したい方まで必見の企画です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

2026 JSRT秋季大会
画像部会・核医学部会 合同企画シンポジウム

日時　10月24日（土）10：00〜17：00
第２会場（メインホールB）

10:00－12:00
画像の成り立ちとAI：物理的基礎から画像処理の実装まで

教育講演
核医学を中心とした画像の成り立ちと画像情報の基礎
国際医療福祉大学　本村 信篤 先生

シンポジウム
AIによる画像技術の変革と臨床応用
福島県立医科大学　山尾 天翔 先生
新潟大学　市川 翔太 先生、横浜栄共済病院　江上 桂 先生

14:10－17:00
生成AIが拓く放射線技術の新展開：臨床・研究・業務の革新

教育講演
大規模言語モデル（LLM）の最新動向とアカデミックな視点
北海道科学大学　谷川原 綾子 先生

シンポジウム
生成AIの多角的活用の実践と未来像
滋賀医科大学医学部附属病院　福井 悠介 先生
小倉記念病院　佐保 辰典 先生、市立角館総合病院　千葉 大志 先生
熊本大学　椎葉 拓郎 先生、藤田医科大学　辻本 正和 先生

総合討論

医用モニタ品質管理ハンズオンセミナー

2026年 10/23(金)、24(土)、25(日)

会場	Gメッセ群馬　ハンズオンセミナー会場（小会議室 303）
対象	医用モニタ品質管理に関心のある医療従事者の方
定員	各回5名（同一施設様は、2名で1名分の枠として申込み可能）
使用機材	1名につき医用モニタ2台を用意
参加費	無料（日本放射線技術学会秋季学術大会への参加登録が別途必要）



お使いのモニタ
正しく表示できて
いますか？

内容

医用モニタ品質管理の実践（45 分）
・実機で知る「なぜ医用モニタの品質管理が必要なのか」
・『医用画像表示用モニタの品質管理に関するガイドライン JESRA X-0093』の解説
・ガイドラインに基づいた品質管理の実践
注目！
・環境光の影響を体験
新ガイドライン「JESRA TR-0049」では、環境光も加味した運用が前提となり、今後の動向が注目されています。環境光がモニタの見た目や試験結果に与える影響を体験いただけます。

マンモグラフィモニタ品質管理の実践（45 分）
・実機で知る「なぜ医用モニタの品質管理が必要なのか」
・『デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアル』の解説
・マニュアルに基づいた品質管理の実践



[ハンズオンセミナーの参加お申込みは、Gメッセ群馬 小会議室 303 当ハンズオンセミナー受付まで直接お越しください。]

EIZO

EIZO株式会社　〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地　https://www.eizo.co.jp
ヘルスケア営業部 03-5764-3403
札幌 011-737-6601　仙台 022-212-8751　名古屋 052-232-7701　北陸 076-277-6790
大阪 06-4807-7707　広島 082-535-7701　高松 087-869-0877　福岡 092-715-7706

部会紹介 02

核医学部会

Nuclear Medicine Division

「診断・治療・情報技術をつなぐ核医学部会」

核医学部会では、核医学診療の質と安全を技術面から支えるため、学術大会企画、核医学技術研修会、部会誌やホームページによる情報発信、研究支援に取り組んでいます。近年は、アミロイドPETによる認知症診断、177Luによる核医学治療、産学医工連携、AIによる画像再構成や被ばく低減など、変化を先取りした企画を展開してきました。また、デジタルファントム実習や、複数会場をオンラインで結んだファントム・線量評価実習など、新たな研修形式にも挑戦しています。第54回秋季学術大会では、新たに画像部会との合同企画として、画像AIと大規模言語モデルを取り上げます。画質改善、セグメンテーション、プログラミング、被ばく相談支援、研究・論文作成、教育への活用まで、基礎から実践を一日で俯瞰できる点が見どころです。大きく変わる核医学の診断・治療・情報技術をつなぎ、部会や職種、地域を越えて学ぶ場に皆様も一緒に参加してみませんか？



核医学部会メンバー



NEW

BEAMSCAN® Water Phantoms

PTW THE DOSIMETRY COMPANY

あなたも、彼らのような課題を抱えていませんか？
BEAMSCANなら、あなたのニーズに合った三次元水ファントムを提供できます。

David → Speedo

働いている大学病院内には複数のリニアックがあり、それぞれが常に稼働しています。QAは迅速かつ正確に実施しなければなりません。治療装置は稼働時間を最大限確保する必要があります。

Olivia → Ringo

最新のリングガントリー型リニアックを2台備えた施設で働いています。治療スケジュールが非常にタイトで、QAを効率よく実施する必要があります。また、治療室や保管室のスペースが限られているため、搬送や保管も課題です。

Becca → Mobilo

複数のサテライト施設で働いています。できるだけ短時間でQA作業を終える必要があり、さらに重い水ファントムを別の施設へ運搬しなければならないため、大きな負担となっています。



Ringo

限られたスペースにも収まる超コンパクト設計。Halcyonなどのリングガントリー型リニアックのに最適です。

Speedo

昇降台と水タンクが一体化。設置・組立の手間がなく、電源を入れるだけで即座に測定を開始できます。

Mobilo

折りたたみ式リフトを備えたモジュール式。専用パッケージにより車等での安全な輸送と移動に特化しています。

Euro Medi Tech
ユーロメディテック株式会社

〒141-0022
東京都品川区東五反田2-20-4 NMF高輪ビル8F
TEL：03-5449-7585 / FAX：03-5449-0234

〒530-0047
大阪府大阪市北区西天満5-1-1 ザ・セヤマビル6F
TEL：06-6131-2180 / FAX：06-6131-2181

部会紹介 03

放射線治療部会

Radiation Therapy Division

当大会の教育講演では、「放射線治療におけるソフトウェア開発」をテーマに、放射線技師として会社を立ち上げるまでの道のりをアールテック有限会社の宮沢正則先生にご講演いただきます。ソフトウェア開発に対する思い、会社設立の過程や苦労された点などについてお話しいただく予定です。

ワークショップでは、「放射線治療分野におけるプログラミングソフト活用ワークショップ」をテーマに、金沢大学の武村哲浩先生には「3D Slicer」を活用したARTに関連する内容について、広島大学の松浦貴明先生には「Python」を活用したリニアックQA解析についてご講演いただきます。3名の先生方の多角的な視点を通して、明日からの業務や研究に活かせる知見を共有する機会としたいと考えております。治療部会としてワークショップは初の試みとなりますが、実際に手を動かして学びたい方はPCをご持参いただき、聴講を中心に参加される方もぜひ会場にお越しください。新たな学びと実践のきっかけを、ぜひお持ち帰りください。





BRACCO
LIFE FROM INSIDE

ブラッコ・ジャパン株式会社
〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-13-21
www.bracco.com/ja

文献請求先及び問い合わせ先：ブラッコ・ジャパン株式会社
フリーダイヤル 0120-318-170
（受付時間9～17時　土・日・祝日、会社休日を除く）
BJ-20250205-02

部会紹介 04

撮影部会

Imaging Technology Division

第87回 撮影部会Aシンポジウム（一般分科会）

『病態から考える膝関節検査～画像診断と運動機能評価の融合～』をテーマにシンポジウムを開催します。５名の講師により、「膝関節X線撮影の基本と標準化～再撮影基準とプレショットの実際～」、「変形性膝関節症の画像評価～立位評価と人工関節の評価～」、「靭帯損傷の画像評価～X線ストレス撮影とMRI～」、「理学療法士からみた膝関節評価～画像所見から予測する身体機能～」、「病態から考える膝関節超音波検査」について講演いただきます。本シンポジウムでは診断精度の向上にむけた膝関節検査の標準化およびX線検査、MRI検査、超音波検査に加え、理学療法士による運動機能身体評価の視点を統合し、画像所見を病態の理解、運動機能身体評価に結びつける統合的評価の重要性について議論を深めてまいります。

10月25日（日）　9：00～10：00（第３会場 メインホールA）

【教育講演】　座長　森田　康介（東京女子医科大学病院）
『膝関節の診断と治療』　桑島　海人（東京女子医科大学）

10月25日（日）　10：00～12：00（第３会場 メインホールA）

【シンポジウム】
『病態から考える膝関節検査~画像診断と運動機能評価の融合~』
座長　中前　光弘（大阪ハイテクノロジー専門学校）
中村　浩章（NTT東日本関東病院）

① 膝関節X線撮影の基本と標準化～再撮影基準とプレショットの実際～
森田　康介（東京女子医科大学病院）

② 変形性膝関節症の画像評価～立位評価と人工関節の評価～
尾崎　匡邦（北里大学北里研究所病院）

③ 靭帯損傷の画像評価～X線ストレス撮影とMRI～
関　将志（北里大学病院）

④ 理学療法士からみた膝関節評価～画像所見から予測する身体機能～
佐藤　友香（東京女子医科大学病院）

⑤ 病態から考える膝関節超音波検査
前田　佳彦（高浜豊田病院）

第87回 撮影部会Bシンポジウム（CT, MRI, 一般分科会合同企画）

『急性期脳梗塞』をテーマにCT・MR・一般分科会合同でシンポジウムを開催します。

急性期脳梗塞に対する迅速な診断・治療による再灌流療法を実現することは、患者の長期的なQOLを大幅に改善するために極めて重要です。本シンポジウムでは、再灌流療法を支える検査技術のアップデートを目的に、患者受け入れ体制、CT，MRIによる画像診断、血栓回収療法に至るまで、多角的な視点から議論を深めてまいります。

10月24日（土）　9：00～10：00（第１会場 メインホールC）

【教育講演】　座長　高木　卓（千葉市立海浜病院）
『急性期脳梗塞の診断と治療 ～最新の動向と多職種連携の重要性～』
清水　立矢（前橋赤十字病院）

10月24日（土）　10：00～12：00（第１会場 メインホールC）

【シンポジウム】
『急性期脳梗塞に対する迅速な診断と治療のための検査技術』
座長　三好　利治（岐阜大学医学部附属病院）
金沢　勉（新潟大学医歯学総合病院）

① 当院における脳卒中患者受け入れ体制の確立
塩入 知子（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

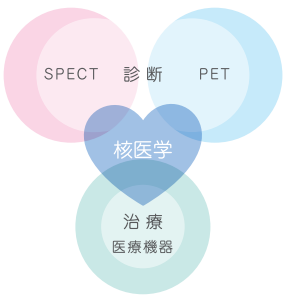
② MRI による急性期脳梗塞の検査技術
内田　貴文（島根大学医学部附属病院）

③ CTによる急性期脳梗塞の検査技術：CT first体制を支える灌流画像と治療戦略
桐木　雅人（兵庫医科大学病院）

④ 血栓回収を成功に導くための撮影技術と治療支援
阿部　由希子（東京慈恵会医科大学附属病院）

nihon medi+physics





明日の幸せを願い、「診る」そして「治す」核医学。

私たちは、がんや心臓病、脳血管疾患および認知症などの早期発見に役立つSPECT・PET検査用放射性医薬品や、がん治療用の医療機器、治療薬などの創出を通じ、これからも皆様の健康に貢献します。

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL（03）5634-7006（代）
https://www.nmp.co.jp/

日本メジフィジックス株式会社

2026年10月作成

部会紹介 05

計測部会

Radiation Measurement Division

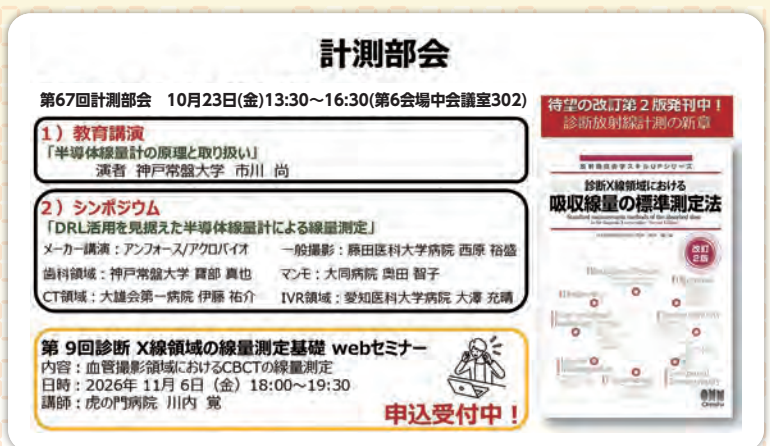
計測部会では、放射線計測の標準化と精度向上を目的として、下記に示す標準測定法の改訂、講習・普及活動、線量計貸出事業、そして次期診断参考レベル（DRL2030）策定に向けた基盤整備など、多岐にわたる活動を進めています。会員の皆様にとって身近で頼りになる部会を目指しておりますので、ご意見・ご要望がございましたら、ぜひお寄せください。

1.「診断X線領域における吸収線量の標準測定法」改訂第２版の発刊

2025年８月に改訂第２版を発刊することができました。近年の測定機器の進歩や臨床現場からのご意見を踏まえ、内容の見直しと更新を行っております。今後の診断X線領域における線量測定の標準的な指針として、会員の皆様の日常業務にお役立ていただければ幸いです。

2. 改訂第２版発刊にあわせたWebセミナーの開催

改訂第２版の発刊にあわせ、全国どちらの地域からもご参加いただきやすいよう、Webセミナーを開催しています。会場開催では参加が難しかった遠方の会員の皆様にも、改訂のポイントや実際の測定における留意点を直接お伝えできる貴重な機会と考えております。今後も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



3. 線量計貸出事業の拡大

線量計貸出事業につきましては、これまでRaySafe社製品のみを対象としておりましたが、このたびアクロバイオ社にもご協力いただけることとなり、貸出可能な機種のラインナップを拡大いたしました。ご利用を希望される会員の皆様は、計測部会ホームページからお気軽にお問い合わせください。



部会紹介 06

放射線防護部会

Radiation Protection Division

DRLs2025を臨床現場でどう活かすか　－線量評価とプロトコル最適化－

10月25日（日）10:00～12:00, 第7会場 中会議室301

「DRLを下回っていれば、本当に最適化できていると言えるでしょうか？」2025年にJapan DRLs 2025が公表され、各施設では自施設の線量評価や撮影プロトコルの見直しが進められています。一方、DRL値や中央値を達成すること自体が目的となれば、必要な画質や診断能を損なうおそれもあります。

今回、放射線防護部会では「DRLs 2025を臨床現場でどう活かすか ―線量評価とプロトコル最適化―」をテーマに、DRLs2025を経て、各施設における取り組み例を紹介し、自施設データを用いた線量評価、過剰被ばくの検知と是正、画質評価、臨床画像を踏まえたプロトコル見直し等の課題について、みなさまと考えていきたいと思います。DRLsは「守るべき数値」ではなく、線量と画質を見ながら継続的に改善していくための道標です。本企画を、明日からの線量管理と撮影条件の最適化につなげる機会としていただければ幸いです。ぜひご参加ください。



MS CAP-TYPE GRID R

MS CAPタイプグリッド R（アール）



■フレーム素材を従来のステンレスから樹脂に変更することでソフトな感触を実現しました。

■フレームに使用される樹脂は耐久性・耐薬品性に優れREACH規制にも対応しております。

■半切サイズでの重量比較で、ステンレス製フレーム245gに対し樹脂製フレームは75gとおよそ1/3になりました。

通常のCAPタイプとKAITEKIシート付きの2種類をご用意しています。

MITAYA

株式会社三田屋製作所

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12 TEL: 049(298)8017　FAX: 049(298)8016

ISO9001認証(JQA-QM4013)　ISO13485認証(JQA-MD0026)

https://www.mitaya.co.jp/

部会紹介 07

医療情報部会

Medical Informatics Division

医療情報部会は、放射線技術学に寄与する医療情報の研究・教育を通じ、診療業務の効率化、医療安全、医療の質向上を支える活動を進めています。学術大会での教育講演・シンポジウム、PACS Specialistセミナー、部会誌の発行に加え、DICOMやJJ1017など、標準化に関する情報発信にも取り組んでいます。最近は、医療機器のサイバーセキュリティ、クラウド利用、生成AI・LLM、データ分析を重点テーマとし、2026年度にはRを用いたデータ処理・可視化の実践セミナーも企画いたしました。医療情報は一部の専門家だけのものではなく、医療情報システムの運用、画像・線量管理、業務改善に直結する共通基盤です。初学者から実務担当者、研究を志す方まで、部会を学びと交流の場として活用し、現場の課題を新たな研究につなげていただければと思います。ぜひ医療情報部会の活動にご参加ください。皆さまとともに、安全で質の高い放射線診療の未来を築いていきたいと思います。



画像検査室にやすらぎと安全を

AirCanvas・mag luminance・MAGFHY AXIA で、検査空間の快適性と安全性をトータルにサポート



自然風景を高精細に映し出し、天井や壁面に開放感を演出　さまざまな検査空間に対応する超薄型スクリーン照明です

MRI 室｜CT 室｜アンギオ室｜放射線治療室｜マンモ撮影室 など

eMT Medical Tokyo

株式会社イーメディカル東京

画像検査室の環境改善をご提案します。
https://www.emedicaltokyo.co.jp/

【お問合せ】
サプライ・コンサル事業部　TEL : 03-3542-3588

mag luminance
【MRI 室用低ノイズ専用照明】



MAGFHY AXIA
【ゲート型磁性体センサー】



mag luminance は東京計器ｱﾋﾞｴｰｼｮﾝ㈱、MAGFHY AXIA は
ｵﾘｵﾝ･ﾗﾄﾞｾｰﾌﾒﾃﾞｨｶﾙ㈱にてお取扱い頂いております

関係法令フォーラム

Relevant Laws and Regulations Forum

10月24日(土) 16:50～17:50（第４会場　中会議室202）

「水晶体線量管理５年ブロックを経験して現場の対応と今後に向けて」をテーマに、５年間のデータを基にしながら、今後の水晶体線量の測定の在り方、実際の管理の在り方についてフロアの皆様と一緒に考えます。

個人線量測定機関からは「日本の医療従事者における2021～2025年度の５年ブロック期間内での眼の水晶体の等価線量に関する変化」と題し、株式会社千代田テクノルの犬飼裕司先生に実データを基に解説いただきます。医療施設からは、先ず「2021～2025年度の５年ブロック期間内での施設間の異動に対応した線量の引き継ぎについて」と題し、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センターの藤田克也先生から５年期間中に施設の異動による線量管理の工夫をご紹介いただき、引継ぎに関する課題への対応案をご提示いただきます。次に、「2021～2025年度の５年ブロック期間内での医師の線量変化について」と題し、国立病院機構東埼玉病院の福原かおる先生から医師へのサポートによる水晶体線量の変化に基づく水晶体専用の線量計の配布対象者の実際の見直し例を含めてご報告いただきます。これらの発表から、フロアの皆様と議論を行い、今後の対応とあり方について方向性を示していければと思っています。是非ご参加いただき、活発な討論にご協力ください。



日本の医療従事者における2021~2025年度の5年ブロック期間内での眼の水晶体の等価線量に関する変化

株式会社千代田テクノル
犬飼 裕司 先生



2021~2025年度の5年ブロック期間内での施設の異動による線量の引き継ぎについて

高崎総合医療センター
藤田 克也 先生



2021~2025年度の5年ブロック期間内での医師の線量変化について

東埼玉病院
福原 かおる 先生



委員会紹介 01

医療安全委員会

Medical Safety Committee

医療安全委員会は、さまざまな職場形態の委員8名で構成される代表理事直轄委員会であり、医療現場における安全性の向上と質の高い医療の提供を目指し、多角的な視点から活動しています。さらに、事故の未然防止に加え、安全に業務が遂行できた要因にも着目し、その知見を医療安全の向上につなげるレジリエンスの考え方を取り入れた活動を推進しています。

主な活動として、総会および秋季学術大会、また、オンラインにて「医療安全フォーラム」を企画・運営しています。今回は、現場の課題に寄り添い、「急変時のシミュレーション」や「転倒・転落対策」をテーマに、実践的な知識の共有と議論を深める予定です。

更に、アンケート調査に基づく実践的な対策の立案や、「低レベルインシデント」の分析を通じて、未然防止の仕組みづくりと継続的な医療安全活動に取り組んでいます。



今後の展望として、急速に進むAIの医療普及を見据え、医療安全の観点から積極的に取り組んでいきます。これまでの安全管理とAIを融合させた新たなテーマを来年のJRC総会フォーラムで企画するほか、高度化する医療技術に対応した新たな安全のあり方について検討・発信していきます。

最新テクノロジーを活用し、現場の負担軽減と安全性の向上を両立することで、次世代の安心・安全な医療環境の実現に貢献してまいります。

より見える・より効率的な マンモグラフィ検査
3Dimensions™ MAMMOGRAPHY SYSTEM
genius AI™
Deep Learningを使用したマンモグラフィ画像解析
画像上の特徴や乳腺パターンを分析するHOLOGIC独自のAI技術
3DQuorum™
3D™の読影枚数・データ容量を軽減
geniusAI™技術による3D™の
読影枚数・データ容量を軽減する
6mmスライスを生成するソフトウェア
DOWN 1/3に 画像枚数 軽減
DOWN 50% 以下に データ容量 軽減
HOLOGIC® The Science of Sure
ホロジックジャパン株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル
TEL.03-5804-2340（代） FAX.03-5804-2321
Hologic, 3Dimensions, 3D Mammography, 3D, Selenia, Dimensions, 3DQuorumおよび関連するロゴは、
Hologic, Inc. およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
特定保守管理医療機器 販売名：デジタル式乳房X線撮影装置 Selenia Dimensions 医療機器製造販売認証番号：222ABBZX00177000 © 2025 Hologic, Inc. All rights reserved.

委員会紹介 02

出版委員会

Publications Committee



対象商品：

- 「放射線医療技術学叢書」 すべて
- 「実践 放射線治療技術学 放射線治療装置を立ち上げよう」
- 「研究方法論と基礎統計学」
- 「臨床研究のためのディジタル画像処理の基礎とパソコンソフト活用術」
- 「放射線画像の形成過程と物理特性」

書籍ウェブショップHP▶



大会会場での書籍割引販売は、「書籍ウェブショップ」でのクーポン割引に移行しました。https://service.jsrt.or.jp/ec/

◆秋季学術大会時の書籍割引頒布について

第54回日本放射線技術学会秋季学術大会の開催期間中，「書籍ウェブショップ」でご利用いただける【書籍割引クーポン】を発行いたします．クーポンのご利用で，書籍を定価の20％オフでご購入いただけます．ぜひこの機会に，本学会の書籍をお求めください．叢書などの内容は，学会公式ホームページ内の「書籍ウェブショップ」の立ち読み機能でご覧いただけます．

◆放射線医療技術学叢書のラインアップ



叢書42

2026年２月に，叢書42『実践Interventional Radiologic Technology』が発刊されました．近年のIVRの技術進歩と臨床ニーズを踏まえ，診療放射線技師に求められる解剖やワーキングアングル，合併症対応，血管内イメージング，補助循環装置などの知識と技術を実践的に解説しています．叢書34とあわせて，日常診療にご活用ください．

More, More / More 回診の「もっと」を叶える

回診用X線撮影装置 Vehicle



【Power】最大出力 6.0 kW ／ 120 kV の高出力ユニット
コンパクトなボディでありながらクラス最高レベルの高出力を実現。
ブレを抑えたクリアな画質を提供し、確実な診断をサポートします。

【Handling】2関節ゼロGアーム & 滑らかな操作性
関節ゼロGアームを採用。手動での移動も軽快で、
狭い病室やベッドサイドでもストレスのないポジショニングが可能です。

【Battery】使いやすい電源仕様（DC／AC両対応）
バッテリー（DC）駆動はもちろん、100Vコンセント（AC）に接続したままでの
撮影や充電も可能。フル充電で約200枚（胸部換算）の連続撮影が可能です。

販売名：Vehicle（ビークル）
認証番号：305ALBZX00015000

株式会社 大林製作所
工場　〒332-0002　埼玉県川口市弥平2−15−15　TEL　048−222−3800
本社　〒113-0034　東京都文京区湯島1−7−10
https://www.obayashi-mfg.co.jp/

委員会紹介 03

教育委員会

Educational Affairs Committee

本秋季学術大会では、2027年度から始動する新たな教育体制を見据え、多彩な企画をお届けします。

シンポジウム**「教育体制の再構築」**では、教育委員会と地方支部が連携して進める教育改革の方向性を議論します。

教育体制の再構築の骨子をはじめ、支部との連携、シラバスや教育コンテンツの集約、各支部の特色ある教育プログラムなどを通じて、これからの人材育成のあり方を展望します。

また、画像解剖シリーズでは、群馬大学大学院医学系研究科の熊坂創真先生を講師にお迎えし、「上部消化管の画像解剖」をテーマにご講演いただきます。正常解剖から各種モダリティにおける画像の見え方、さらに代表的な症例まで、実践的かつ分かりやすくご解説いただく予定です。

さらに、新たな教育体制に先駆け、**「専門コミュニティ教育講座」**がここからスタートします。

教育委員会企画の見どころ

2026年10月24日（土）10:30〜

シンポジウム
「教育体制の再構築」

2026年10月24日（土）14:10〜

「上部消化管の画像解剖」
熊坂 創真 先生
（群馬大学大学院医学系研究科）

新たにスタート‼
専門コミュニティ教育講座
（全12講座）

2027年
新たな教育体制が本格稼働‼
教育委員会

More than confident
Certain

Elekta

がんを見ながら放射線治療をする時代へ

解剖学に特化した MR 画像と妥協のないデザインは、治療の効率性の向上をもたらします。

Elekta Unity は、見ながら治療をする時代へと放射線治療の新たな可能性を広げます。
True Tracking と Automatic Gating を備えた CMM（Comprehensive Motion Management）は、市場をリードする診断レベルの画像と動きの定量化、修正アルゴリズムにより、Elekta Unity のさらなる進化を実現します。

また、治療開始初日から適応放射線治療のベネフィットを得られるよう、臨床導入時のトレーニングやサポートの提供、ユーザーコミュニティを通じた情報共有などを通して、専門チームが先生方を支援します。

Find out how Unity empowers you to treat with certainty

Elekta Unity
See the difference

elekta.com/unity

承認番号：30100BZX00016000
販売名：Elekta Unity MR リニアックシステム

エレクタ株式会社 www.elekta.co.jp
〒 108-0023 東京都港区芝浦 3-9-1 芝浦ルネサイトタワー 7F
TEL 03-6748-6180 FAX 03-6436-4231

LADMRL240405_JP © 2025 The Elekta Group. All rights reserved.

委員会紹介 04

大会開催委員会

Academic Meeting Organizing Committee



委員会紹介 05

広報・渉外委員会

Public Relations and Public Affairs Committee

学会の魅力を、もっと広く、もっと身近に

広報・渉外委員会は、放射線技術学の有用性を社会に広く伝えるとともに、学会の活動や成果を会員・社会へ発信し、学会と関係省庁、関連学会・団体をつなぐ役割を担っています。ホームページやメールマガジンを活用した学会の情報や魅力の発信に加え、学会公式アプリ「RacNeAPP」の普及にも取り組んでいます。RacNeAPPには、デジタル会員証をはじめ、各種手続きやイベントの参加登録、論文閲覧、e-learningなど、学会をより身近に感じていただくためのさまざまな機能が備わっています。「学会を、その手に。スマートに。」を合言葉に、スマートフォンやタブレットを通じて、いつでも学会とつながることのできる環境づくりを進めています。

また、学生向けイベントや市民公開シンポジウムなどを通じた情報発信にも力を入れています。次世代を担う人材への情報提供や、放射線技術学の医療における役割と魅力を多くの方に知っていただく機会を大切にしています。

広報・渉外委員会は、情報発信と人とのつながりを通じて、学会の活動をより身近なものとして届け、放射線技術学の価値を社会と未来へ発信していきます。





The 55th Autumn Scientific Congress of Japanese Society of Radiological Technology in Hiroshima

2027年秋季学術大会、広島へ

HIROSHIMA

第55回秋季学術大会は、2027年10月21日(木) から23日(土) までの３日間、広島国際会議場において開催いたします。

近年、AIをはじめとする先進技術は飛躍的に進歩し、画像診断、放射線治療、画像情報解析、教育、研究など、放射線医療のあらゆる分野に変革をもたらしています。一方、少子高齢化や医療提供体制の変化により、人材育成、多職種連携、安全で質の高い医療の実現など、私たちに求められる役割はますます重要となっています。

本大会は、「技と知の融合」をテーマに掲げました。革新的な医療機器や情報技術を生み出す「技」、それらを臨床で活用する放射線技術者の「技」、そして医師や研究者が培ってきた「知」。これらを融合し、新たな価値を創造することを目指します。

平和を世界に発信し続ける広島の地に集い、専門分野や立場を越えて未来の放射線技術を語り合う、実りある大会としたいと考えております。

第55回日本放射線技術学会秋季学術大会

2027.10.21 THU – 23 SAT | 広島国際会議場

注目企画

JSRT-JART協力体制推進特別委員会

10月23日(金) 13：30～14：30　第４会場　中会議室202

JARTとJSRTは以前より連携していましたが、その協力体制をいっそう推進させることを目指して2021年に新しく組織されました。両団体で密に情報共有を図り、Scrap&Buildの視点を交えた議論を重ねて参りました。目立った成功物では『合同学術大会』『小児股関節一般撮影での生殖腺シールドを除する動き』。前者は高い評価を得て第２回開催の動きとなり、後者は日本医学放射線学会、日本小児科学会、日本整形外科学会等のご協力をいただきAll Japanの動きとなりました。それら以外でも、論文・研究・教育等で円滑な〝寄り添い〟が適っています。ところで現在、大枠として一定の務めが果たせたことで特別委員会の纏め作業にかかっています。そこで、会員目線での今後展望を占うセッションを大会初日（13：30－14：30第４会場）に計画しました。奮ってのご参加で、皆様から未来に向けた明るい声を寄せていただければ有難く存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



注目企画

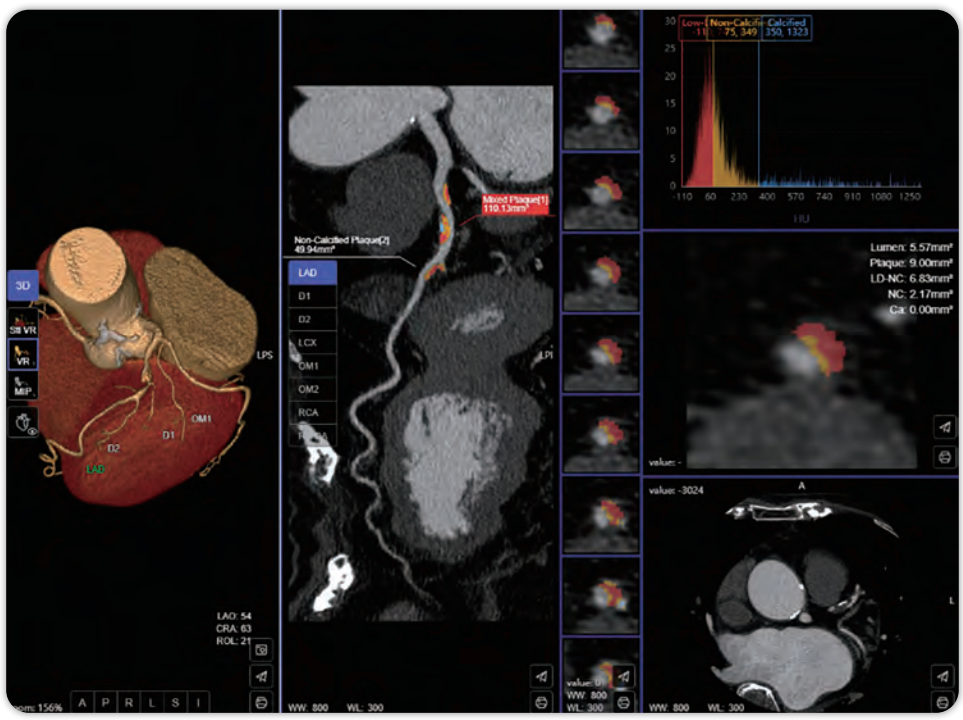
日本放射線技術学会 – 日本循環器学会合同企画

「冠動脈プラークイメージングの最前線：“見え方の違い”から紐解くモダリティの特性と限界」

10月24日（土）14：10～16：10　第１会場　メインホールC

冠動脈プラーク評価のゴールドスタンダードは、IVUSやOCTなどの血管内イメージングである。一方、より低侵襲に実施可能なCTやMRIによるプラークイメージングも薬物療法の効果判定や病変の経時的変化を評価するフォローアップでの利用を念頭に注目されており、画像の定量性や再現性の向上が求められている。

本セッションでは、日本放射線技術学会からCT・MRIにおける撮影、再構成、画像解析の技術的側面を、日本循環器学会からプラークイメージングの臨床的意義や診療への応用を取り上げ解説する。さらに、それぞれのモダリティで得られる画像の特徴や評価の乖離にも着目し、「何が見えるのか」「どこまで評価できるのか」を多角的に議論する。画像を作る側と、それを診療に活用する側の知見を融合し、冠動脈プラークイメージングを個別化治療へどのようにつなげるべきか、その現在地と展望を共有したい。



AIを活用した冠動脈プラーク解析

注目企画

企画委員会　会員増加戦略検討班

10月24日(土) 16：30～17：30　第５会場　中会議室201

絆創生プロジェクト　始動しています
Shaping a New Era with the Power of Connection

～会員増加戦略検討班（通称“絆創生プロジェクト”）～

企画委員会内に設置されました「会員増加戦略検討班」は、昨年秋より活動を開始し、この１年間の活動で「学生会員の年会費無料化の再開」や「学生会員から正会員への移行時の会費減免措置」、「有料学生会員への叢書進呈」、「育休に対する資格維持と会費免除」、「会員満足度および今後の発展に向けた会員アンケート調査の実施」といった提案を行い実現して参りました。

今後も、皆様からの声に耳を傾け、会員目線を大切に考えながら、学会の未来を見据えた提案を行い、皆様との絆を深める活動を継続して参りたいと思います。特に、現在行っているアンケート調査は、今後学会が歩むべき方向性を考える大きな指針となります。是非、この学術大会の期間中に、アンケート調査への回答をどうぞ宜しくお願い申し上げます。





注目企画

将来構想特別委員会 答申シンポジウム

演者：将来構想特別委員会　委員長　奥田保男

10月25日(日) 10：00～11：00　第４会場　中会議室202

本答申では、「ここでしか得られない価値」を提供することが学会運営の本質であると位置付けている。その価値とは、社会貢献、研究成果の発信、知識共有、人材交流、そして会員の成長と発展の機会である。2014年に公表された将来構想答申から11年が経過する中、委員会は2035年を見据え、放射線技術学と社会との関係を再検討し、持続可能なイノベーション創出や学術団体の新たな役割を模索してきた。2020年以降のCOVID-19流行は、未来の不確実性や本質的な価値への集中の重要性を再認識させた。本答申は、その成果が2035年以降に評価される長期的な指針であり、サグラダ・ファミリア建設になぞらえながら、未知の学会の未来に向けて今取るべき行動を示す道標として位置付けられる。構成は、学会の社会的役割、目的と基本方針、アクションプラン、将来予測と課題の４章から成る。



医工連携：臨床ニーズマッチング会

日　時　10月23日(金) 14：30～16：30
会　場　第１会場　メインホールC



本大会では、日本放射線技術学会と日本画像医療システム工業会（JIRA）の共催により、「医工連携：臨床ニーズマッチング会」を開催します。

医療現場には、日々の業務の中で感じる課題や要望、さらには「こんなことができたら」「こんな技術があれば」といったさまざまなニーズやアイデアがあります。本企画では、こうした臨床現場の声を医療機器・ソフトウェア等の開発につなげ、より良い医療の実現を目指します。

会員の皆様から寄せられた臨床ニーズ・アイデアの中から，採択されたものをご発表いただき、参加者の皆様からの質疑を通じて、ニーズ・アイデアに対する理解を深めていただきます。当日の発表をきっかけとして、発表内容に関心を持った企業と発表者との連携につながることが期待されます。

本企画を通じて，臨床現場のニーズが企業に共有され，新たな製品・サービスの開発や，今後の産学連携・医工連携につながることが期待されます。ぜひ会場に足をお運びください。

第43回JIRA発表会

日　時　10月24日(土) 14：10～16：40
会　場　第４会場　中会議室202

JIRA発表会は、日本画像医療システム工業会（JIRA）会員企業の新製品・新技術やひと工夫を紹介する場として、1983年から続く一般報告の場です。会員企業から製品・技術について解説し、理解を深め、日々の運用の一助としていただくことを目的に、年に１回、JSRT秋季学術大会の際に開催されています。中小企業から大手企業まで、幅広い企業の解説を聞ける絶好の機会です。

今年の第43回JIRA発表会では、14演題が発表されます。学術大会の本質である「対面での対話」を重視し、「現地開催のみ」で開催される本大会において、多くの参加者との活発な意見交換を期待しております。

技術１：７演題

座長：コニカミノルタ(株)　長束澄也
コメンテータ：東京都立大学大学院　根岸徹

技術２：７演題

座長：キヤノンメディカルシステムズ(株)　保坂健一
コメンテータ：群馬大学医学部附属病院　須藤高行



第54回秋季大会　JIRAワークショップ

日　時　10月25日(日) 10：00～11：30
会　場　第６会場　中会議室302



テーマ　ZEROヘリウム時代～MRI　最新動向を探る～

司　会　齋藤 茂芳（JSRT 学術委員会 委員長）／ 保坂 健一　（JIRA 学術専門委員会 委員長）

【JSRT側演者】
高野 晋 先生（東海大学医学部付属病院 診療技術部）
白勢 竜二 先生（柏葉会かしわば記念クリニック診療技術部）
【JIRA側演者】
菅野 康貴 氏（シーメンスヘルスケア株式会社 ダイアグノスティックイメージング事業本部 MR事業部）
市川 真仁 氏（富士フイルムメディカル株式会社 営業本部MS事業部営業技術グループ）

概　要

ヘリウム供給の不安定化と価格高騰、さらに環境負荷低減への社会的要請を背景に、液体ヘリウムに依存しないMRI装置への注目が急速に高まっています。ゼロヘリウム・ヘリウムフリー装置はすでに臨床現場で稼働を開始しており、その実力と課題を実運用の視点から検証すべき時期を迎えています。本企画ではJSRTとJIRAが連携し、装置を日々運用するユーザーの立場と、開発・供給を担うメーカーの立場の双方から現状を俯瞰していただく。ユーザーからは、国内第１号機を導入した脳外科クリニックにおける使用経験を報告いただき、日常診療での有用性や運用上の留意点を共有します。メーカーからは、各社最新装置の技術的特徴に加え、消費電力や設置性の利点、クエンチ時や再撮像のリスクを回避する機能などを紹介いただきます。稼働実績に基づく知見を持ち寄り、画質・安定性・保守体制といった今後の普及に向けた課題を多角的に議論し、ゼロヘリウム時代のMRIが描く新たな展望を探ります。

医用モニタ品質管理ハンズオンセミナー

当日参加
受付可能

会　場　ハンズオンセミナー会場　小会議室303
対　象　日本放射線技術学会秋季学術大会の学会参加登録が必要



医用モニタの精度管理（品質管理）についてのハンズオンセミナーを開催します。品質管理をこれから始めたい方、医用モニタの状態が不安な方、新ガイドラインに触れてみたい方を対象にした、医用モニタや測定器（センサー）の実機を使った操作を体験できる実践型のセミナーです。

内　容

医用モニタ品質管理の実践（45分）
・実機で知る「なぜ医用モニタの品質管理が必要なのか」
・『医用画像表示用モニタの品質管理に関するガイドラインJESRA X-0093』の解説
・ガイドラインに基づいた品質管理の実践

マンモグラフィモニタ品質管理の実践（45分）
・実機で知る「なぜ医用モニタの品質管理が必要なのか」
・『デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアル』の解説
・マニュアルに基づいた品質管理の実践

注目!

・環境光の影響を体験
新ガイドライン「JESRA TR-0049」では、環境光も加味した運用が前提となり、今後の動向が注目されています。環境光がモニタの見た目や試験結果に与える影響を体験いただけます。



お申込み

ハンズオンセミナーの参加申込みは、
EIZO Webサイトにて受付けています。
https://www.eizo.co.jp/i/hc/

開催日時

10/23(金)

10:15 ～ 11:00	医用モニタ品質管理
11:25 ～ 12:10	マンモグラフィモニタ品質管理
13:30 ～ 14:15	医用モニタ品質管理
14:40 ～ 15:25	医用モニタ品質管理
16:10 ～ 16:55	マンモグラフィモニタ品質管理

10/24(土)

10:00 ～10:45	医用モニタ品質管理
11:15 ～12:00	医用モニタ品質管理
14:10 ～14:55	医用モニタ品質管理
15:20 ～16:05	医用モニタ品質管理
16:30 ～17:15	マンモグラフィモニタ品質管理

10/25(日)

10:00 ～10:45	医用モニタ品質管理
11:15 ～12:00	マンモグラフィモニタ品質管理

ランチョンセミナー紹介

10月23日(金) 12：20～13：10

ランチョンセミナー1
東洋メディック株式会社

治療計画CTにおける診断参考レベルおよびCTDI測定について

「放射線治療分野における診断参考レベルに係る取り組み」
講師：東京都立駒込病院　放射線治療科 放射線物理室　木藤 哲史 先生

「Accu-Gold+を用いたkV線量測定の効率化」
講師：東京都立駒込病院　放射線治療科 放射線物理室　須田 雄飛 先生

第1会場 メインホールC
座長：筑波大学附属病院　放射線部 副診療放射線技師長　富田 哲也 先生

ランチョンセミナー2
株式会社島津製作所

内視鏡診療を支える透視撮影システムの進化

「透視撮影システムの最新情報」
講師：株式会社 島津製作所 医用機器事業部　塩見 剛 様

「内視鏡下手技における透視撮影システムの臨床経験」
講師：群馬大学 医学部附属病院 放射線部 技師長　須藤 高行 先生

第2会場 メインホールB
座長：東京科学大学病院 基盤診療部門 放射線部 技師長　小島 裕二 先生

ランチョンセミナー3
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

日常業務に役立てられるワークステーション

「循環器画像解析を支えるAbierto Vision活用の実際」
講師：群馬県立心臓血管センター 技術部・放射線課　齋藤 和歩 先生

「Abierto Visionが拓くCT画像診断の新たなワークフロー」
講師：地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 放射線部　三井 宏太 先生

第3会場 メインホールA
座長：水戸済生会総合病院 放射線技術科 課長補佐　黒羽 克英 先生

ランチョンセミナー4
バイエル薬品株式会社

造影CTの生理食塩水活用最前線
～画質最適化と撮影プロトコル革新のリアル～

「造影剤注入装置Centargo導入による造影CT検査の効率化と環境負荷低減」
講師：近畿大学病院　中央放射線部　森 陸翔 先生

「Centargoを活用した造影CT検査の品質向上」
講師：和歌山県立医科大学附属病院　中央放射線部　西山 卓志 先生

第4会場 中会議室202
座長：滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部 副診療放射線技師長　牛尾 哲敏 先生

ランチョンセミナー5
アイラト株式会社

AI技術で進化する放射線治療計画とQA
～AIによる計画支援とVirtual QAの可能性～

「RatoGuideを使って頭頸部SIBプランを作ってみた」
講師：上尾中央総合病院　畑中 星吾 先生

「AIが変えるPatient-Specific QA ～施設固有データを活用したVirtual QAの実現に向けて～」
講師：金沢大学附属病院　小島 礼慎 先生

第5会場 中会議室201
座長：栃木県立がんセンター 放射線治療品質保証室 伊藤 憲一 先生

ランチョンセミナー6
株式会社日立ハイテク

放射線治療装置OXRAYの初期経験

「OXRAY初期経験から見えたDynamic SwingArcの真価～CyberKnifeとの使い分けから考える～」
講師：足利赤十字病院 放射線科部　寺内 貴志 先生

第6会場 中会議室302
座長：自治医科大学附属病院 放射線治療部 技師長　根本 幹央 先生

ランチョンセミナー7
PDRファーマ株式会社

認知症でのアミロイドPETの活用方法

「画像診断から始まる抗アミロイドβ抗体薬治療－1枚の画像が、1人の人生を変えるー」
講師：医療法人 千清会 鈴木脳神経外科　鈴木 海馬 先生

第7会場 中会議室301
座長：千葉大学医学部附属病院 放射線部 技師長　飯森 隆志 先生

10月24日(土) 12：15～13：05

ランチョンセミナー8
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

AIと歩む画像診断の新常識
～CT・MRIが切り拓く次世代の臨床現場～

「64列CTの進化が変える日常診療　－Deep Learning技術がもたらす臨床現場の革新－」
講師：東京女子医科大学八千代医療センター　画像診断部　福田 幸太郎 先生

「MRI革命　-DLRが切り拓く次世代イメージング-」
講師：岐阜大学医学部附属病院　放射線部　副診療放射線技師長　梶田 公博 先生

第1会場 メインホールC
座長：信州大学医学部附属病院 放射線部 技師長　木藤 善浩 先生

ランチョンセミナー9
シーメンスヘルスケア株式会社

AIとフォトンカウンティングCTが拓くCT検査の新しいかたち
－NAEOTOM Alphaの稼動報告－

「See the unseen 見えなかったものを見る ～NAEOTOM Alpha.class の技術革新とこれまでの実績～」
講師：シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部　中島 彩 様

「NAEOTOM Alphaのポテンシャルを研ぎ澄ますmyExam companion × syngo.viaのシナジー」
講師：埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部　中根 淳 先生

第2会場 メインホールB
座長：順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線部 技師長　木暮 陽介 先生

ランチョンセミナー10
コニカミノルタジャパン株式会社

X線動態による画像診断の最前線
－現在地と、これからの可能性を探る－

「運動器を評価する動態撮影の実践～多職種連携と撮影技術～」
講師：東京女子医科大学病院 中央放射線部　森田 康介 先生

「胸部X線動態撮影の基礎と臨床応用～肺血流解析画像を中心に～」
講師：富山大学附属病院 放射線部 副技師長　中島 佑 先生

第3会場 メインホールA
座長：つくば国際大学 医療保健学部 診療放射線学科 教授　梁川 範幸 先生

ランチョンセミナー11
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

先進画像技術が拓く、これからの画像診断

「高精細ADCTを臨床の力に ～先進技術の実装から見えた価値と可能性～」
講師：浜松医科大学医学部附属病院 放射線部　山下 勝礼 先生

「Canon MRIを知って活かす ～体幹部画像診断にもたらす新たな可能性～」
講師：神戸大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門　曽宮 雄一郎 先生

第4会場 中会議室202
座長：防衛医科大学校病院 放射線部 技師長　野地 敦樹 先生

ランチョンセミナー12
株式会社バリアンメディカルシステムズ

RapidArc Dynamicの治療計画と臨床活用
－従来VMATとの比較および導入検証を通じて－

「RapidArc Dynamicの治療計画と臨床活用 － 従来VMATとの比較および導入検証を通じて －」
講師：がん研有明病院 放射線治療部　武田 正勝 先生

第5会場 中会議室201
座長：筑波大学医学医療系 応用医学物理学 教授　磯辺 智範 先生

ランチョンセミナー13
富士フイルムメディカル株式会社

AIを活用して開発した技術と定量化

「AIを用いて開発された技術がもたらす検査効率化、高画質化と定量マップの現状」
講師：富士フイルムメディカル株式会社 MS事業部 営業技術部　市川　真仁様

「Synergy DLRを用いた画質改善の検討」
講師：群馬パース大学　医療技術学部　放射線学科　茂木 俊一 先生

「1.5T装置でのQSM/QPM定量マップ生成：ファントム評価と臨床的応用の検討」
講師：群馬パース大学　医療技術学部　放射線学科　髙橋 哲彦 先生

第6会場 中会議室302
座長：藤田医科大学大学院 医療科学研究科 医療科学専攻 医用量子科学領域 教授　高津 安男 先生

ランチョンセミナー14
ザイオソフト株式会社

ワークステーションがもたらす診療・業務効率化の新たな可能性

「Ziostation REVORASがもたらす業務改革」
講師：佐賀大学医学部附属病院　田北 諭 先生

「脳血管３D画像のための撮像とAI（人工知能）の活用」
講師：札幌柏葉会病院　平野 透 先生

第7会場 中会議室301
座長：新潟大学医歯学総合病院 医療技術部長・技師長　金沢 勉 先生

Lunch Box



だるま弁当

群馬を代表する駅弁「だるま弁当」
郷土の味と伝統を一度に楽しめる世代を問わず愛され続ける逸品。



峠の釜めし

群馬を代表する駅弁。秘伝のダシで炊き上げた自家精米のコシヒカリの上に、色彩豊かな9種類の具材をのせています。
容器は環境にやさしいパルプモールド素材を使用。



すき焼き弁当

群馬県産上州牛を使用した地域の魅力を味わえる特製すき焼き弁当。



23日



24日

上州幕の内弁当

創業60年の老舗レストランスワンのお弁当工房による、秋の食材を使用したオリジナル弁当。



登利平（松）



登利平（竹）

秘伝のたれと厳選された鶏肉で創業当初から人気を博している「上州御用鳥めし」。老舗の技と心意気が息づくその味は、県内をはじめ多くの皆様に愛される上州名物。

10月23日(金)

ランチョンセミナー1	①だるま弁当	③すき焼き弁当	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー2	②峠の釜めし	④上州幕の内弁当	⑥登利平（竹）
ランチョンセミナー3	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー4	③すき焼き弁当	④上州幕の内弁当	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー5	③すき焼き弁当	④上州幕の内弁当	⑥登利平（竹）
ランチョンセミナー6	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー7	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑥登利平（竹）

10月24日(土)

ランチョンセミナー8	①だるま弁当	③すき焼き弁当	⑥登利平（竹）
ランチョンセミナー9	②峠の釜めし	④上州幕の内弁当	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー10	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑥登利平（竹）
ランチョンセミナー11	③すき焼き弁当	④上州幕の内弁当	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー12	③すき焼き弁当	④上州幕の内弁当	⑥登利平（竹）
ランチョンセミナー13	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑤登利平（松）
ランチョンセミナー14	①だるま弁当	②峠の釜めし	⑥登利平（竹）

Sweets　10月25日(日)

スイーツセミナー



どらやき



樫の木

Stamp Rally

スタンプラリー企画



機器展示ブースで企業を回りスタンプを集めて群馬の名産お菓子をゲットしよう！

第54回 日本放射線技術学会秋季学術大会

2026/10/23 (Fri)

Gメッセ群馬

	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00
第１会場 メインホールC	9:00-9:10 開会式	9:20－10:00 一般演題（口述発表） CT（心臓１）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） CT（灌流画像解析）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） CT（マルチエナジー１）		12:20－13:10 ランチョンセミナー１ 東洋メディック株式会社		13:30－14:20 専門コミュニティ講座１ 医療情報安全１		14:30－16:30 JIRA-JSRT 企画「ニーズマッチング会」 臨床ニーズマッチング会				16:40－17:20 一般演題（口述発表） 画像工学 （診断支援２・他）			
第２会場 メインホールB		9:20－10:00 一般演題（口述発表） 画像工学（CT）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） 画像工学（MRI）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） 画像工学（診断支援１）		12:20－13:10 ランチョンセミナー２ 株式会社島津製作所		13:30－14:20 専門コミュニティ講座２ CT		14:30－15:10 一般演題（口述発表） CT（頭部）		15:20－16:10 一般演題（口述発表） CT(技術開発・画像処理)		16:20－17:00 一般演題（口述発表） CT（造影１）			
第３会場 メインホールA		9:20－10:00 一般演題（口述発表） MR（骨盤領域）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） MR （UTE・Bone image）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） MR（評価・解析）		12:20－13:10 ランチョンセミナー３ キヤノンメディカル システムズ株式会社		13:30－15:30 実行委員会企画１ 診療放射線技師の論文執筆入門 －働きながら論文を書くには－					15:40－16:20 一般演題（口述発表） MR（DWI・ADC）		16:30－17:20 一般演題（口述発表） MR（DWI・評価）			
第４会場 中会議室202		9:20－10:00 一般演題（口述発表） CT（画像評価）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） CT（深層学習再構成１）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） CT（アーチファクト）		12:20－13:10 ランチョンセミナー４ バイエル薬品株式会社		13:30－14:30 JSRT-JART協力体制推進 特別委員会企画		14:40－15:40 一般演題（口述発表） MR（撮影手技・安全性）							
第５会場 中会議室201		9:20－10:00 一般演題（口述発表） 放射線治療 （治療計画１）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） 放射線治療 （照射技術１）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） 放射線治療 （撮影技術１）		12:20－13:10 ランチョンセミナー５ アイラト株式会社		13:30－14:20 専門コミュニティ講座３ 放射線治療		14:30－15:10 一般演題（口述発表） 放射線治療 （照射技術２）		15:20－16:00 一般演題（口述発表） 放射線治療 （治療計画２）		16:10－17:10 一般演題（口述発表） 医療情報 （情報活用・基盤管理）			
第６会場 中会議室302		9:20－10:00 一般演題（口述発表） 計測（CT線量評価）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） 計測（診断X線品質管理）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） 計測（放射線計測機器）		12:20－13:10 ランチョンセミナー６ 株式会社日立ハイテク		13:30－14:30 計測部会 教育講演 診断参考レベル(DRL)活用を見据えた 半導体線量計による線量測定 －装置特性と実践的運用－ 半導体線量計の特性と取り扱い		14:30－16:30 計測部会 シンポジウム 診断参考レベル（DRL）活用を見据えた 半導体線量計による線量測定 －装置特性と実践的運用－					16:40－17:20 一般演題（口述発表） SPECT（脳）			
第７会場 中会議室301		9:20－10:00 一般演題（口述発表） SPECT/PET（心臓）		10:10－10:50 一般演題 （口述発表） PET （撮像技術・画像処理）		11:00－11:50 一般演題（口述発表） 核医学治療		12:20－13:10 ランチョンセミナー７ PDRファーマ株式会社		13:30－14:20 専門コミュニティ講座４ 核医学１		14:30－15:20 一般演題（口述発表） 教育		15:30－16:10 一般演題（口述発表） SPECT（その他）		16:20－17:10 一般演題（口述発表） 透視・IVR （業務検討・基礎）			
第８会場 展示ホール内		9:20－10:00 一般演題（口述発表） 防護（システム最適化）		10:10－11:00 一般演題（口述発表） 防護（遮蔽性能評価）		11:10－12:00 一般演題（口述発表） 透視・IVR（X線透視）				13:30－14:20 一般演題（口述発表） 透視・IVR （画像評価・術前計画）		14:30－15:20 一般演題（口述発表） 撮影X線 （乳房撮影・性能評価）		15:30－16:20 一般演題（口述発表） 撮影X線 （性能評価）		16:30－17:20 一般演題（口述発表） 撮影X線 （動態X線・実態調査）			
機器展示 展示ホール内	9:00－17:00 企業機器展示																		
ハンズオン会場			10:15－11:00 ハンズオン セミナー１ 医用モニタ 品質管理		11:25－12:10 ハンズオンセミナー２ マンモグラフィ品質管理					13:30－14:15 ハンズオン セミナー３ 医用モニタ 品質管理		14:40－15:25 ハンズオン セミナー４ 医用モニタ 品質管理				16:10－16:55 ハンズオンセミナー５ マンモグラフィ品質管理			

第54回 日本放射線技術学会秋季学術大会

2026/10/24 (Sat)

Gメッセ群馬

	09:00	09:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	19:00
第１会場 メインホールC	9:00−10:00 撮影部会B（CT MR 合同）教育講演 急性期脳梗塞の診断と治療 〜最新の動向と多職種連携の重要性〜		10:00−12:00 撮影部会B（CT MR 合同） シンポジウム 急性期脳梗塞に対する迅速な診断と治療のための検査技術				12:15−13:05 ランチョンセミナー8 GEヘルスケア・ジャパン 株式会社			13:20−14:00 式典	14:10−16:10 日本放射線技術学会−日本循環器学会合同企画 冠動脈プラークイメージングの最前線： 見え方の違いから紐解くモダリティの特性と限界				16:20−17:10 専門コミュニティ講座10 MRI				
第２会場 メインホールB	9:00−9:50 専門コミュニティ講座５ 核医学２		10:00−10:50 核医学部会・画像部会 合同企画 教育講演 大規模言語モデル（LLM） 核医学を中心とした画像の成り立ちと画像情報の基礎		10:50−12:00 核医学部会・画像部会 合同企画 シンポジウム AIによる画像技術の変革と臨床応用		12:15−13:05 ランチョンセミナー9 シーメンスヘルスケア 株式会社				14:10−15:00 画像部会・核医学部会 合同企画 教育講演 大規模言語モデル(LLM) 大規模言語モデル(LLM)の最新動向とアカデミックな視点		15:00−17:00 画像部会・核医学部会 合同企画 シンポジウム 生成AIの多角的活用の実践と未来像				17:10−18:00 一般演題（口述発表） 画像工学（評価）			
第３会場 メインホールA	9:00−9:50 専門コミュニティ講座６ 画像		10:00−12:00 実行委員会企画２ 画像処理パラメータの基礎				12:15−13:05 ランチョンセミナー10 コニカミノルタジャパン 株式会社				14:10−14:50 一般演題（口述発表） CT（スペクトラルシェイピング）		15:00−15:50 一般演題（口述発表） CT（マルチエナジー２）		16:00−16:40 一般演題（口述発表） CT（マルチエナジー３）		16:50−17:40 一般演題（口述発表） CT（心臓２）			
第４会場 中会議室202	9:00−10:00 学術フォーラム JSRTにおける学術教育体制の再構築について			10:10−11:00 専門コミュニティ講座９ アカデミックスキルズ		11:10−12:00 一般演題（口述発表） 撮影X線（撮影技術）	12:15−13:05 ランチョンセミナー11 キヤノンメディカル システムズ株式会社				14:10−16:40 JIRA発表会						16:50−17:50 関係法令フォーラム 水晶体線量管理５年ブロックを経験して現場の対応と今後に向けて			
第５会場 中会議室201	9:00−10:00 医療情報部会 教育講演 放射線治療分野における医療情報連携の現状と課題		10:00−12:00 医療情報部会 シンポジウム 放射線治療情報連携の実際 ― 院内多職種から地域連携まで				12:15−13:05 ランチョンセミナー12 株式会社バリアン メディカルシステムズ				14:10−15:10 医療安全フォーラム 放射線部門におけるリスクの未然防止とレジリエンスの醸成 起こさない安全―備える安全			15:20−16:20 標準化フォーラム JESRAを考慮した医療ディスプレイの管理		16:30−17:30 会員増加戦略検討班企画 「来れ！ JSRT NEXT」 〜放射線技術学をキャリアに繋げる！今知っておきたいJSRTの活かし方〜				
第６会場 中会議室302	9:00−9:50 専門コミュニティ講座７ 計測防護１		10:00−11:00 放射線防護フォーラム 放射線防護の倫理を臨床に落とし込む ― ICRP Publ.157が示す患者との対話		11:10−12:00 一般演題（口述発表） 防護（線量評価開発）		12:15−13:05 ランチョンセミナー13 富士フイルム メディカル株式会社				14:10−15:10 一般演題（口述発表） MR（DLR）			15:20−16:20 一般演題（口述発表） MR（肝胆膵）		16:30−17:00 一般演題（口述発表） 医療安全		17:10−17:50 一般演題（口述発表） 装置・運用評価		
第７会場 中会議室301	9:00−9:50 専門コミュニティ講座８ X線・US			10:30−12:00 教育委員会企画１ 「教育体制の再構築」			12:15−13:05 ランチョンセミナー14 ザイオソフト株式会社				14:10−15:00 教育委員会企画２ 画像解剖学 「消化器領域」 上部消化管の画像解剖		15:10−17:50 実行委員会企画３ 教えて！しくじり先生							
第８会場 展示ホール内	9:00−9:50 一般演題（口述発表） 放射線治療（撮影技術２）		10:00−10:50 一般演題（口述発表） 放射線治療（線量評価１）		11:00−12:00 一般演題（口述発表） 放射線治療（照射技術３）						14:10−15:10 一般演題（口述発表） 放射線治療（線量評価２）			15:20−16:20 一般演題（口述発表） 放射線治療（QA・QC）		16:30−17:10 一般演題（口述発表） 透視・IVR（線量管理）		17:20−18:10 一般演題（口述発表） 透視・IVR（CBCT）		
機器展示 展示ホール内	9:00−17:00 企業機器展示																		19:00−21:00 情報交換会	
ハンズオン会場			10:00−10:45 ハンズオンセミナー６ 医用モニタ品質管理		11:15−12:00 ハンズオンセミナー７ 医用モニタ品質管理 （学生枠※一般受付無）						14:10−14:55 ハンズオンセミナー８ 医用モニタ品質管理 （学生枠※一般受付有）			15:20−16:05 ハンズオンセミナー９ 医用モニタ品質管理 （学生枠※一般受付有）		16:30−17:15 ハンズオンセミナー10 マンモグラフィ品質管理 （※学生枠設定NG）				

第54回 日本放射線技術学会秋季学術大会

2026/10/25（Sun）

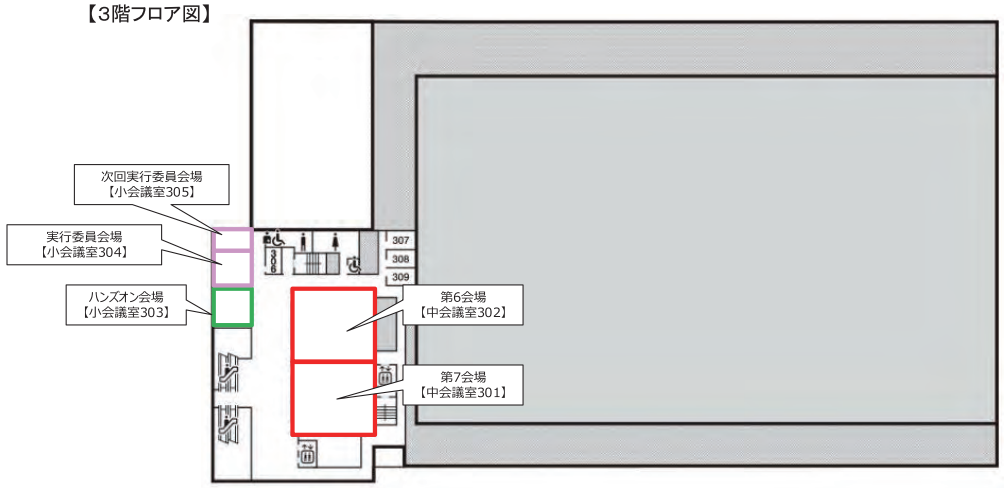
Gメッセ群馬

	09:00	09:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
第１会場 メインホールC	9:00−11:00 実行委員会企画４ 研究する医療者 × 生成AI				11:10−11:50 一般演題 （口述発表） MR（MRA・血管）		12:20−12:40 閉会式	
第２会場 メインホールB	9:00− 9:50 専門コミュニティ講座11 医療情報安全２		10:00−10:30 スイーツ セミナー１ 株式会社 フィリップス・ ジャパン					
第３会場 メインホールA	9:00−10:00 撮影部会A（一般）教育講演 膝関節の診断と治療 ー膝関節外科医は画像から 何を読み取るかー		10:00−12:00 撮影部会A（一般）シンポジウム 病態から考える膝関節検査 〜画像診断と運動機能評価の融合〜					
第４会場 中会議室202	9:00− 9:50 専門コミュニティ講座12 計測防護２		10:00−11:00 将来構想特別委員会 答申シンポジウム 学会の将来を語り合う場 （将来構想答申を踏まえ）		11:10−12:00 一般演題（口述発表） CT（深層学習再構成２）			
第５会場 中会議室201	9:00− 9:30 一般演題 （口述発表） CT（造影２）		10:00−12:00 市民公開シンポジウム 突然死を予防する画像のチカラ 〜いつもを支える放射線技術〜					
第６会場 中会議室302	9:00− 9:50 一般演題（口述発表） MR（エラストグラフィ）		10:00−11:30 JIRAワークショップ ZEROヘリウム時代〜MRI最新動向を探る〜					
第７会場 中会議室301	9:00−10:00 放射線防護部会　教育講演 DRLs 2025 を臨床現場でどう活かすか ー線量評価とプロトコル最適化ー DRLsを活用した最適化 ー線量と画質をどう評価するかー		10:00−12:00 放射線防護部会　シンポジウム DRLs 2025 を臨床現場でどう活かすか ー線量評価とプロトコル最適化ー					
第８会場 展示ホール内	9:00−10:00 放射線治療部会　教育講演 放射線技師として 会社を立ち上げるには		10:00−12:00 放射線治療部会　シンポジウム 放射線治療分野における プログラミングソフト活用ワークショップ					
機器展示 展示ホール内	9:00−12:00 企業機器展示							
ハンズオン会場			10:00−10:45 ハンズオンセミナー11 医用モニタ品質管理		11:15−12:00 ハンズオンセミナー12 マンモグラフィ品質管理			

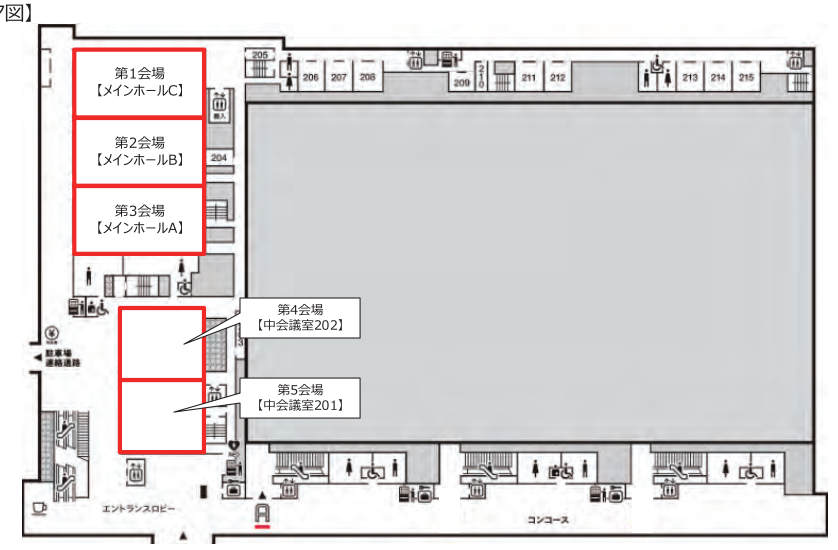
会場案内図

Gメッセ群馬

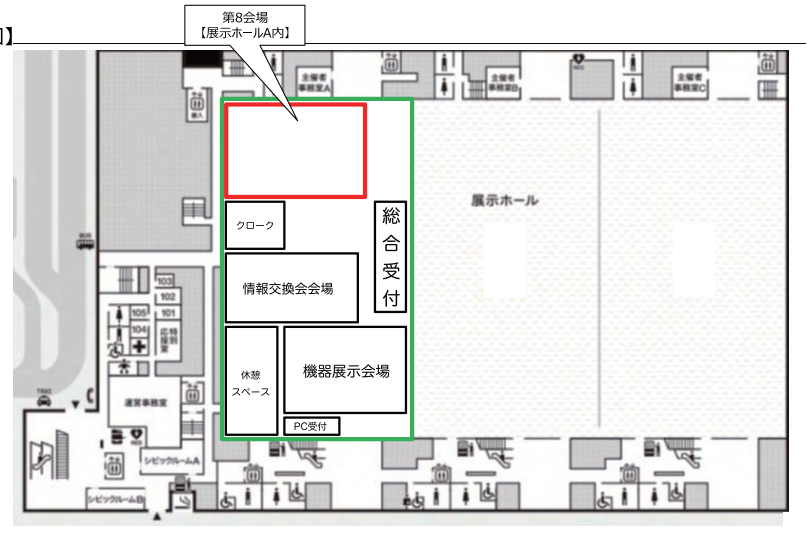
【3階フロア図】



【２階フロア図】



【1階フロア図】




公益社団法人 日本放射線技術学会
2026年度 市民公開シンポジウム
突然死を予防する
画像のチカラ
“いつも”を支える放射線技術
詳細はこちらの
QRコードから
日時：2026年10月25日(日曜) 10:00 ~ 12:00
会場：Gメッセ群馬 中会議室201 (JR高崎駅東口 徒歩15分)
参加費：無料 (どなた様でもご参加いただけます)
お問い合わせ
公益社団法人 日本放射線技術学会
〒600-8107
京都市下京区五条通新町東入東錺屋町167ビューフォート五条烏丸3階
TEL 075-354-8989 FAX 075-352-2556
E-mail：office@jsrt.or.jp
主催：公益社団法人 日本放射線技術学会
後援：群馬県、群馬県高崎市、群馬県医師会、群馬県診療放射線技師会、
群馬テレビ、上毛新聞
JAPANESE SOCIETY OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGY

ACCESS



JR高崎駅から徒歩約15分(約1.1km)

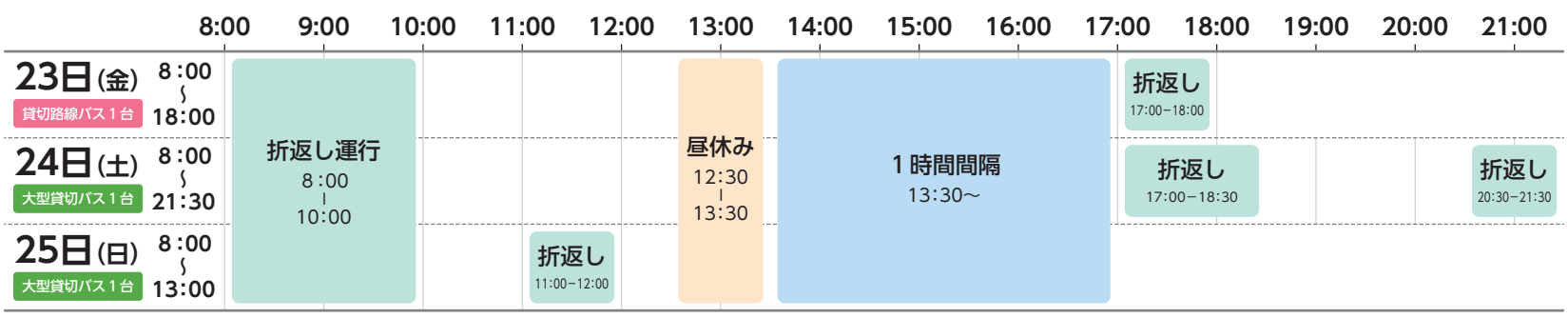
関越自動車道高崎玉村スマートICから
車約15分

⚠ お車でお越しの方は、施設の北側からのご入場をお願いします。



学会シャトルバス時刻表 (高崎駅↔Gメッセ群馬)

※基本は予定表の運行を主とします。
※発車時刻前であっても、満車になり次第発車します。



23日(金)

高崎駅 ⇒ Gメッセ		Gメッセ ⇒ 高崎駅	
発	着	発	着
8：00	8：10	8：15	8：25
8：35	8：45	8：50	9：00
9：10	9：20	9：25	9：35
9：45	9：55	10：30	10：40
10：50	11：00	11：10	11：20
11：30	11：40	11：50	12：00
12：10	12：20		
12：30〜13：30　休憩			
		13：30	13：40
13：50	14：00	14：30	14：40
14：50	15：00	15：30	15：40
15：50	16：00	16：30	16：40
16：50	17：00	17：10	17：20
17：25	17：35	17：45	17：55

24日(土)

高崎駅 ⇒ Gメッセ		Gメッセ ⇒ 高崎駅	
発	着	発	着
8：00	8：10	8：15	8：25
8：35	8：45	8：50	9：00
9：10	9：20	9：25	9：35
9：45	9：55	10：30	10：40
10：50	11：00	11：10	11：20
11：30	11：40	11：50	12：00
12：10	12：20		
12：30〜13：30　休憩			
		13：30	13：40
13：50	14：00	14：30	14：40
14：50	15：00	15：30	15：40
15：50	16：00	16：30	16：40
16：50	17：00	17：10	17：20
17：25	17：35	17：45	17：55
18：00	18：10	18：20	18：30
18：40	18：50	20：10	20：20
20：25	20：35	20：45	20：55
21：00	21：10	21：20	21：30

25日(日)

高崎駅 ⇒ Gメッセ		Gメッセ ⇒ 高崎駅	
発	着	発	着
8：00	8：10	8：15	8：25
8：35	8：45	8：50	9：00
9：10	9：20	9：25	9：35
9：45	9：55	10：20	10：30
10：40	10：50	11：00	11：10
11：20	11：30	11：40	11：50
11：55	12：05	12：15	12：25
12：30	12：40	12：50	13：00

